



| | |
|------------------------|---|
| Title | Evolution in the Mesozoic Diving Birds [an abstract of dissertation and a summary of dissertation review] |
| Author(s) | 田中, 公教 |
| Citation | 北海道大学. 博士(理学) 甲第13912号 |
| Issue Date | 2020-03-25 |
| Doc URL | http://hdl.handle.net/2115/78397 |
| Rights(URL) | https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/ |
| Type | theses (doctoral - abstract and summary of review) |
| Additional Information | There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL. |
| File Information | Tomonori_TANAKA_review.pdf (審査の要旨) |



[Instructions for use](#)

学位論文審査の要旨

博士の専攻分野の名称 博士（理 学） 氏 名 田 中 公 教

| | | | |
|-------|----|------|---------|
| 審査担当者 | 主査 | 教授 | 小林 快 次 |
| | 副査 | 特任教授 | 竹 下 徹 |
| | 副査 | 准教授 | 伊 庭 靖 弘 |

学位論文題名

Evolution in the Mesozoic Diving Birds
(中生代における潜水鳥類の進化)

博士学位論文審査等の結果について（報告）

現在、鳥類は脊椎動物の中で魚類に次いで多くの種が存在し、陸生脊椎動物として最も成功を収めている。その現生鳥類の起源は、空を飛ぶ動物から進化したと考えられていた。田中君は、化石種を含め再検討した。その結果、空ではなく、水上である可能性を指摘した。

田中君は、現生鳥類の子孫に近いグループであるヘスペロオルニス類に着目し、水棲適応の進化を追った。その結果、現生鳥類の起源は水上であることを示唆し、さらに一度水上生活に適応したヘスペロオルニス類は、体の骨を進化させ、さらに浅海へ、深海へと生活圏を広げていったことを解明した。この研究は世界的に注目されるものである。

よって著者は、北海道大学博士（理学）の学位を授与される資格あるものと認める。